



第36期 中間報告書

平成23年2月21日 ▶ 平成23年8月20日



暮らしにもっと、楽しさをもっと



株式会社 **ダイユーエイト**

証券コード：2662



経営理念

地域社会への貢献

地域社会から支持され、信頼されることが私達の存在意義です。

感謝の精神

すべてが感謝に始まり、感謝に返る、誠実な態度を、私達は大切にします。

お客様第一主義

お客様の喜び、満足を実現することが、私達の生き甲斐です。

基本精神

お客様の店舗、お客様あつての私達。“お客様第一主義”を日々態度と行動で実践します。



株主の皆様へ



代表取締役社長

浅倉 俊一

株主の皆様の平素のご支援に対し、厚く御礼申し上げます。平成23年3月に発生しました東日本大震災により被災された皆様に、心よりお見舞い申し上げます。第36期中間報告書をお届けするにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

当中間期におけるわが国の経済は、新興国を中心とした海外経済の回復傾向等を背景に輸出・生産活動が持ち直す動きが出始め緩やかな景気回復の兆候が表れ、景気足踏み状態から脱却に向けた動きが進行中でありました。しかし、3月11日に発生した東日本大震災及び東京電力福島第一原子力発電所事故による放射能災害が深刻極まりない様相を呈し、かつ夏場にかけては電力供給不足問題がより深刻化しております。かかる東日本大震災の大打撃に加えて、金融経済環境につきましても、世界経済の減速傾向の強まりを要因とする歴史的水準での円高定着にあり、企業を取り巻く経営環境、雇用状況等は依然として厳しい状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループ（当社及び連結子会社）は被災地である東北・北関東地方に店舗展開しているため、大多数の店舗において建物の損傷や商品落下による汚損破損等の被害が発生しました（東日本大震災が発生した3月11日直後には損壊の激しい16店舗が一時的に営業停止を余儀なくされました）。しかしながら「お客様第一主義」の経営理念に基づき、震災発生時か

ら一人でも多くのお客様に、できる限り早く必要な商品をお届けできるよう全社一丸となって努力いたしました。懸命の復旧の結果、東京電力福島第一原子力発電所事故の警戒区域内に立地する富岡店及び小高店、4月閉店のペットワールドアミーゴ仙台泉店（宮城県）を除き、全67店舗中64店舗は5月下旬までに営業再開を果たし、お客様に商品提供を行うことによりライフラインの一環としての役割を果たすことができました。

下期におきましては、今回の震災によるニーズの変化にいかに対応できるか、しかもいかにスピードを上げて対応できるかが最重要課題であると考え、その実現に取り組んでまいります。お客様が必要とされる商品やサービスをご提供できるよう被災した地域の早期復興に全力を尽くすとともに、今期のスローガン「収益構造改革の挑戦」に取り組んでまいります。

なお、当中間期の配当金は、中間期の業績結果及び今後の見通しを鑑み、当初予定の1株当たり6円から3円増額し9円とさせていただきます。株主の皆様におかれましては、何卒ご支援賜りたくお願い申し上げます。



当社では、3月11日（金）に発生した東日本大震災の翌日に、社長を本部長とする災害対策本部を立ち上げました。

発生日から数週間は、毎日午前8時より対策本部会議を開催し、被災した店舗の営業再開に向けた対応と東京電力福島第一原子力発電所の事故の日々刻々と変化する状況へ対応いたしました。

店舗運営

店舗運営体制全般を統括し、早期の営業再開に向け復旧作業の見通し、商品被害状況等について対応しました。

発生翌日の3月12日（土）、電気・ガス・水道のインフラが止まっている中、小売業としてお客様に商品提供を行うことによりライフラインの一環としての役割を果たすため多数の店舗で店頭にて販売を行いました。

また、被害の大きかった店舗へは、本部社員を4~5チーム編成し、応援部隊を派遣して復旧作業に当たりました。

○ 主な営業再開店舗、リニューアル店舗

3月12日（土）	67店舗中51店舗、営業再開
3月23日（水）	相馬店、茨城水戸店（1階のみ）、店内営業再開
3月24日（木）	須賀川東店、店内営業再開
3月28日（月）	鹿島店、店内営業再開
4月1日（金）	いわき大原店、店内営業再開
4月4日（月）	原町店、店内営業再開
4月29日（金）	須賀川北店、店内をリニューアルし営業再開
5月13日（金）	矢吹店、店内をリニューアルし営業再開
5月28日（土）	茨城水戸店、店内をリニューアルし営業再開 建物の損傷が激しく4月に撤退したペットワールドアミーゴ仙台泉店、東京電力福島第一原子力発電所の事故による警戒区域内に位置する小高店及び富岡店を除く64店舗営業



燃料不足により灯油販売所には長蛇の列ができました。



店内の天井が落ち、また、停電による影響のため店頭販売を行いました。

商品調達

取引先の被害状況を把握するとともに、商品統括部が生活物資や商品の確保等について全力で取り組みました。震災直後は、食料品や水、紙おむつ、カセットボンベ、作業シートなど本部一括発注で対応しました。

建物・設備

店舗建物設備の被害状況を把握するとともに、緊急対応復旧工事を実施しました。

緊急対応復旧工事の目途がついた段階で、店舗被害の大小により、第一優先と第二優先修繕店舗に分類し、地元建築会社の協力のもと、短期間で復旧工事の手配を行いました。



震災直後の須賀川東店の店内



復旧後の須賀川東店の店内

従業員

社員及び家族の被災状況、社員家屋の被災状況、出社不能社員の状況について情報収集し、安全確保を優先に勤務地の異動のほか、住居手配、災害見舞金支給等について対応しました。

休業及び閉鎖店舗のパートタイム社員の退職では、特例措置での手続を優先的に行いました。

また、従業員の食料品が入手しにくい地域へは、弁当等の配給を行いました。

福島県・自治体との対応

NPO法人ダイユーエイト災害対策センターとして、福島県災害対策本部や各自治体、自衛隊、県警本部からの生活物資の調達の要請に応じ対応しました。

飲料水、トイレットペーパー、紙おむつ、マスク、毛布、ガスボンベ等約107,000点を供給しました。

震災影響による節電対策

東日本大震災の影響による電力供給不足のための「節電」対策として、当社は次の4つの取り組みを推進しております。

- 店内、外照明30%消灯
- 外灯、広告灯の設定
- 屋内空調の温度管理
- 店内展示器具の消灯





矢吹店リニューアルオープン

3月11日の東日本大震災により、被害が大きく店舗を閉鎖し、修復した矢吹店を5月13日（金）にリニューアルオープンしました。

約2ヶ月ぶりの営業となり、営業再開を待ち望んだ近隣のお客様が多数来店され、補修用品や生活用品を買い求められておりました。



庄内余目店リニューアルオープン

6月25日（土）庄内余目店をリニューアルオープンいたしました。

今回の改装目的は、在庫の適正化及び交叉比率の改善と、100円ショップの導入等により、新たな顧客づくりを推進し、客数と売り上げの増加を狙います。



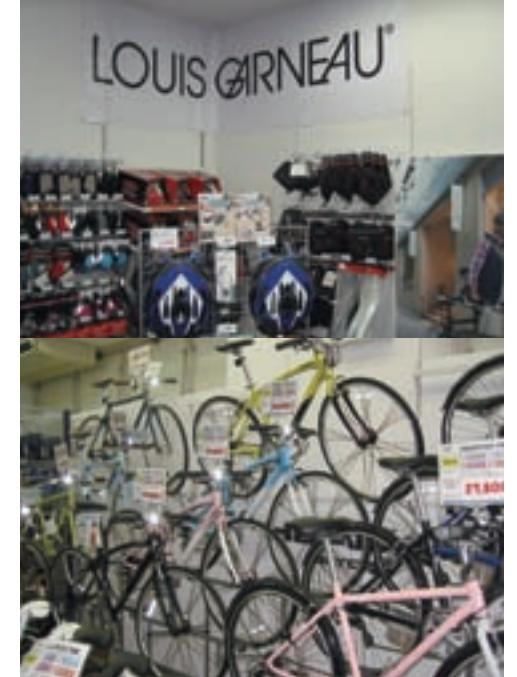
One's Cycle南福島店オープン

7月21日（木）に、自転車専門店第一号「One's Cycle南福島店」を福島市にオープンしました。

One's Cycleのコンセプト

- ① 普段使う自転車、毎日使う自転車を
- ② 豊富な品揃えの中から自分に最適な自転車が選べ
- ③ 説明と修理、アフターメンテナンス等をプロが行う

南福島店では、国内主要メーカーの軽快車等をはじめ、海外メーカーのマウンテンバイクやクロスバイクといった専門的な自転車を常時400台を品揃えしております。



エコキャップ収集運動

8月10日（水）に第17回目の回収を行い、回収した350キロを8月11日（木）に福島民友新聞社へ届けました。累計で5,524キロとなりました。

今まで回収した累計個数2億20万9千個をポリオワクチンに換算すると2,762人分となります。

ちょっとした心がけで出来る大きな社会貢献を今後も継続していきます。





○ 中間連結貸借対照表 (要旨)

(単位:百万円)

科目	当中間連結会計期間末 (平成23年8月20日現在)	前連結会計年度末 (平成23年2月20日現在)
ポイント① → 資産の部		
流動資産	9,562	8,577
現金及び預金	2,530	1,388
売掛金	332	215
たな卸資産	6,280	6,614
その他	419	358
固定資産	15,907	16,180
有形固定資産	11,102	11,318
建物及び構築物(純額)	8,196	8,447
土地	2,219	2,218
リース資産(純額)	462	511
建設仮勘定	147	46
その他(純額)	77	94
無形固定資産	1,393	1,427
のれん	182	218
その他	1,210	1,209
投資その他の資産	3,411	3,433
敷金及び保証金	2,137	2,179
その他	1,283	1,264
貸倒引当金	△ 9	△ 9
資産合計	25,470	24,757

記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しています。

ポイント① → 資産の部

当中間連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ7億1千2百万円増加し、254億7千万円となりました。この主な要因は、売上高増加に伴う現金及び預金の増加、自治体等向け災害復旧復興関連販売の発生に伴う売掛金増加、東日本大震災被災店舗の商品を災害損失計上したことに伴うたな卸資産の減少等であります。

ポイント② → 負債・純資産の部

当中間連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べ3億8千4百万円増加し、219億2千2百万円となりました。この主な要因は、支払決済日が銀行休業日による支払手形及び買掛金の増加、未払法人税等の増加、災害損失引当金の増加、短期借入金及び長期借入金の減少等であります。
純資産は、前連結会計年度末に比べ3億2千8百万円増加し、35億4千7百万円となりました。この主な要因は、利益剰余金の増加等であります。

(単位:百万円)

科目	当中間連結会計期間末 (平成23年8月20日現在)	前連結会計年度末 (平成23年2月20日現在)
ポイント② → 負債の部		
流動負債	14,348	13,693
支払手形及び買掛金	7,147	6,138
短期借入金	2,584	3,337
1年内返済予定の長期借入金	2,240	2,348
1年内償還予定の社債	150	220
リース債務	149	147
未払法人税等	404	122
災害損失引当金	100	-
資産除去債務	0	-
その他	1,571	1,379
固定負債	7,574	7,844
社債	380	435
長期借入金	4,880	5,124
リース債務	398	458
長期預り敷金保証金	1,250	1,292
退職給付引当金	185	177
役員退職慰労引当金	152	148
資産除去債務	125	-
その他	201	208
負債合計	21,922	21,538
ポイント③ → 純資産の部		
株主資本	3,546	3,213
資本金	894	894
資本剰余金	816	816
利益剰余金	1,835	1,502
自己株式	△ 0	△ 0
評価・換算差額等	△ 12	△ 5
その他有価証券評価差額金	△ 11	△ 2
繰延ヘッジ損益	△ 1	△ 2
少数株主持分	13	10
純資産合計	3,547	3,219
負債純資産合計	25,470	24,757

○ 中間連結損益計算書 (要旨)

(単位:百万円)

科目	当中間連結会計期間	前中間連結会計期間
	自平成23年2月21日 至平成23年8月20日	自平成22年2月21日 至平成22年8月20日
売上高	19,377	16,501
売上原価	13,750	12,033
売上総利益	5,627	4,467
販売費及び一般管理費	4,284	4,255
営業利益	1,342	211
営業外収益	119	85
営業外費用	116	144
経常利益	1,345	152
特別利益	-	159
特別損失	664	243
税金等調整前中間純利益	681	68
法人税、住民税及び事業税	389	156
法人税等調整額	△ 81	△ 105
少数株主利益	2	4
ポイント④ → 中間純利益	371	12

記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しています。

○ 中間連結キャッシュ・フロー計算書 (要旨) (単位:百万円)

科目	当中間連結会計期間	前中間連結会計期間
	自平成23年2月21日 至平成23年8月20日	自平成22年2月21日 至平成22年8月20日
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,631	△ 363
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 160	236
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,338	△ 7
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,132	△ 134
現金及び現金同等物の期首残高	1,177	996
現金及び現金同等物の中間期末残高	2,309	861

記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しています。

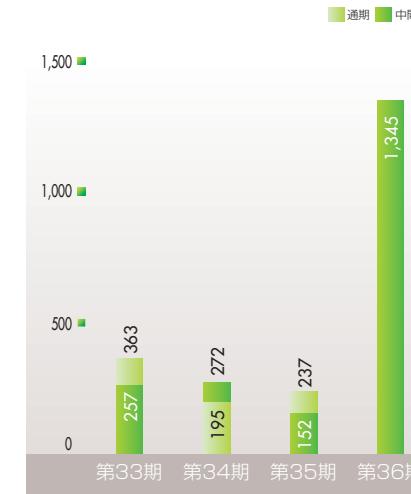
ポイント⑤ → 中間純利益

売上高は、懐中電灯・乾電池・飲料水・耐震用品等の防災必需品をはじめ緊急生活物資、家屋等の復旧・修繕に必要な木材・金物・補修用品等、さらに、避難のための転居や仮設住宅入居等に伴う日用品・家庭用品・収納用品・インテリア・家電製品等の生活必需品をはじめ、節電・暑さ対策商品の売上が好調に推移し、193億7千7百万円となり、経費面では、東日本大震災の影響を勘案し販促費の抑制等の経費見直しやコストダウンを実施したことにより、営業利益が13億4千2百万円、経常利益が13億4千5百万円となりました。中間純利益は、東日本大震災による損失等の発生により3億7千1百万円となりました。

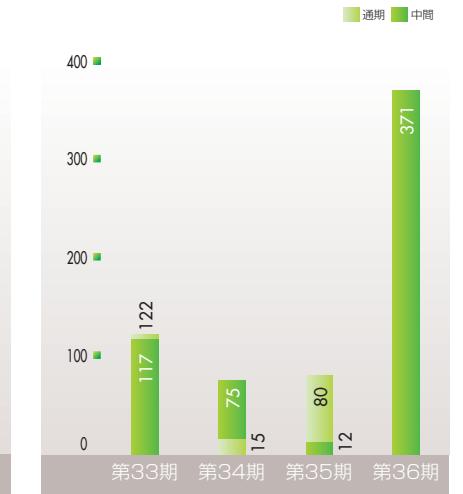
売上高 (単位:百万円)



経常利益 (単位:百万円)



中間(当期)純利益 (単位:百万円)





店舗形態

● ホームセンターダイユーエイト

暮らしと住まいとDIY。地域に密着した豊富な品揃えとお買得価格で、お客様の快適な暮らしを応援しております。



● オフィスイト

「オフィスの経費節約」をテーマに、一般文具から事務用品、オフィス家具までオフィス需要のすべてに、お応えしております。



● ダイユーエイトホームサービス

住まいの補修・改装工事の全般とエクステリア用品の販売や太陽光パネルの販売・取付施工を行っております。

● ダイユーエイトMAX

「住まいと暮らしのカテゴリーカラーの商業集積」というコンセプトのもと、様々なテナントと共に、福島市の中心市街地活性化と新生活創造拠点としてにぎわいを創出してあります。



● One's MAX

インテリア、収納用品、化粧品、雑貨、文具、家庭用品、キッチン用品、季節用品を豊富に取り揃え、今までにない生活提案型の商品を販売しております。



● スーパーマーケット鮮一

新鮮な肉、魚、野菜の生鮮三品を中心に、お買得価格で、毎日の食卓を応援しております。



● ペットワールドアミーゴ

ペット及びペット関連商品を豊富に取り揃え、また、トリミング、ペットホテル等のサービスの充実した店舗で、ペット愛好家の皆様のニーズにお応えしております。



● ガーデンセンター

自社栽培のハーブ苗、四季折々の鉢花、花苗、花木を豊富に揃え、ガーデングッズや庭の手入れ用品、室内飾り等を多数販売しております。



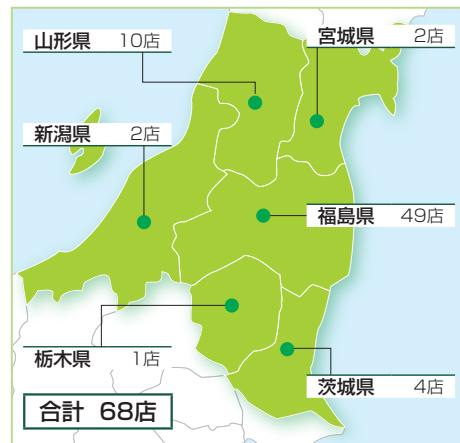
● ワンズサイクル

普段使う自転車、毎日使う自転車を豊富な品揃えの中から自分に最適な自転車を選べ、説明と修理、アフターメンテナンス等をプロが行うをコンセプトに国内主要メーカーの軽快車等をはじめ、海外メーカーのマウンテンバイクやクロスバイクといった専門的な自転車を多数品揃えしております。



店舗展開

● 店舗分布



● 総店舗数の推移 (単位: 店)



店舗一覧

(平成23年9月30日現在)

<ホームセンター>

- 福島県 福島黒岩店 福島八島店 福島鎌田店 福島上名倉店 福島飯坂店 福島蓬萊店 桑折店 保原店 梁川店 川俣店 二本松店 本宮店 郡山安積店 矢吹店 須賀川西店 須賀川北店 須賀川東店 浅川店 石川店 棚倉店 船引店 三春街道店 小野店 相馬店 鹿島店 小高店 原町店 富岡店 いわき城東店 いわき好間店 四倉店 いわき内郷店 いわき鹿島店 いわき大原店 会津若松店 西若松店 会津坂下店 塩川店 猪苗代店
- 宮城県 大原河原店 白石店
- 山形県 南陽店 高島店 村山店 河北店 酒田店 山形花橋店 庄内余目店 山形嶋店 新庄店 米沢店
- 新潟県 新潟中条店
- 栃木県 那須塩原店

- 茨城県 茨城下妻店 茨城水戸店 茨城千代田店 茨城下館店 <オフィスイト>
- 福島県 南福島店 富久山店 福島鎌田店 <ペットワールドアミーゴ>
- 福島県 福島西店 福島南店 会津若松店 いわき店
- 新潟県 新潟小新店 <ダイユーエイトMAX (複合商業施設)>
- 福島県 MAX福島店 <ワンズサイクル>
- 福島県 南福島店 MAX福島店 <One's MAX>
- 福島県 MAX福島店 アティ郡山店 <ガーデンセンター>
- 福島県 三春ハーブ花ガーデン



株式の状況 (平成23年8月20日現在)

1 株式数

- (1) 発行可能株式総数 15,000,000 株
- (2) 発行済株式の総数 6,434,000 株

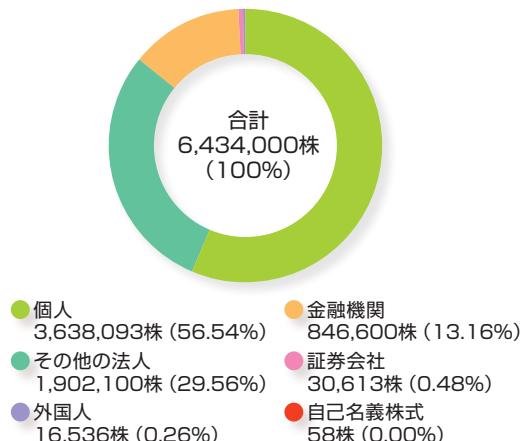
2 株主総数

3,068名

3 大株主

株主名	当社への出資状況	
	持株数	持株比率
浅倉 俊一	734,900株	11.42%
有限会社ティーエイシー	700,000	10.87
ダイユーエイト共栄会	439,500	6.83
ダイユーエイト社員持株会	346,400	5.38
株式会社東邦銀行	200,000	3.10
株式会社リックコーポレーション	200,000	3.10
佐藤 友美	158,140	2.45
浅倉 俊之	140,420	2.18
浅倉 トヨ	120,000	1.86
朝日火災海上保険株式会社	90,000	1.39

4 所有者別分布状況



会社の概要 (平成23年8月20日現在)

- 1 商号 : 株式会社 ダイユーエイト
- 2 設立 : 昭和51年4月
- 3 資本金 : 894,778,000円
- 4 従業員数 : (連結) 正社員 415名
パートタイマー 813名(1日8時間換算)
(単体) 正社員 401名
パートタイマー 767名(1日8時間換算)
- 5 本社 : 福島県福島市太平寺字堰ノ上58番地
- 6 事業内容 : 流通小売業
〔ホームセンター、食品スーパー、文具・事務用品専門店、リフォーム専門店、ペット専門店、複合商業施設、自転車専門店、ホームファッション専門店の経営〕
- 7 上場取引所 : 東京証券取引所市場第一部
- 8 連結子会社 : 株式会社イトフーズ
株式会社ダイユーエイト・ホームサービス
株式会社イトファーム
株式会社アレンザ・ジャパン



役員 (平成23年8月20日現在)

- 代表取締役社長 浅倉 俊一
- 取締役副社長 (営業統括部長) 阿部 和博
- 専務取締役 (業務推進室長) 三瓶 善明
- 常務取締役 (店舗開発部長) 熊田 康夫
- 常務取締役 (ホームセンター事業部長) 柳 沼忠広
- 常務取締役 (管理統括部長兼財務部長) 石黒 隆
- 取締役 (商品統括部長) 佐藤 芳則
- 取締役 川西 良治
- 常勤監査役 四家 英忠
- 監査役 宗形 守敏
- 監査役 寺島 由浩

株主メモ

事業年度	毎年2月21日から翌年2月20日まで
定時株主総会	5月
1単元の株式数	100株
配当金受領株主確定日	期末配当 2月20日 中間配当 8月20日
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
事務取扱場所	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
郵便物送付/ 電話お問い合わせ先	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 TEL.0120-288-324 (フリーダイヤル)
公告方法	電子公告とする。ただし、事故その他のやむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行う。

【株式事務に関するご案内】

● 証券会社でお取引をされている株主様

お手続き お問い合わせ先	お取引のある証券会社
お手続き内容	住所変更、単元未満株式の買取請求、 配当金受取り方法のご指定、相続に伴うお手続き等

● 特別口座に記録されている株主様

特別口座管理機関	東京証券代行株式会社
お手続き お問い合わせ先	〒168-8522 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 東京証券代行株式会社 事務センター ＜株式に関するお問い合わせ＞ TEL.0120-49-7009 (フリーダイヤル)
お取扱店	東京証券代行株式会社 本店 中央三井信託銀行株式会社 本店及び全国各支店
お手続き内容	住所変更、単元未満株式の買取請求、 配当金受取り方法のご指定、相続に伴うお手続き等
特別口座での 留意事項	特別口座では、株式の売却はできません。売却するには、証券会社にお取引の口座を開設し株式の振替を行う必要がございます。

※未払配当金の支払い、支払明細等の発行に関する手続きは当社株主名簿管理人（みずほ信託銀行）が承ります。

お手続き お問い合わせ先	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 TEL.0120-288-324 (フリーダイヤル)
お取扱店	みずほ信託銀行株式会社 本店及び全国各支店 みずほインバスターズ証券株式会社 本店及び全国各支店

※未払配当金につきましては、上記お取扱店のほか、株式会社みずほ銀行の本店及び全国各支店でもお取扱いいたします。

○ 株主優待制度のご案内

当社では、株主の皆様へ感謝の意を表す意味で、毎年2月20日現在の株主の皆様を対象に、株主ご優待として福島県、山形県、茨城県内在住の方には自社商品券を、それ以外の地域に在住の方には福島市の特産品を下記の基準により贈呈させていただいております。

福島県、山形県、茨城県内在住の株主の皆様

所有株式数	自社商品券
100株以上	1,000円（1枚1,000円の自社商品券 1枚）
500株以上	3,000円（1枚1,000円の自社商品券 3枚）
1,000株以上	5,000円（1枚1,000円の自社商品券 5枚）
3,000株以上	10,000円（1枚1,000円の自社商品券10枚）



福島県、山形県、茨城県外在住の株主の皆様

所有株式数	地元特産品
100株以上	1,000円相当の地元特産品
500株以上	2,000円相当の地元特産品
1,000株以上	3,000円相当の地元特産品
3,000株以上	5,000円相当の地元特産品

株式会社 ダイユーエイト

〒960-8151 福島県福島市太平寺塚ノ上58番地
TEL : 024-545-2215
FAX : 024-545-2495
http://www.daiyu8.co.jp

